

受験番号

□ 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。(四十点)

この部分は、著作権の関係で

掲載できません。

受 験 番 号

問一 線部 a～e のカタカナを漢字に直せ。

a		b		c		d		e	
---	--	---	--	---	--	---	--	---	--

問二 (A) (B) (C) を補うのに、最も適当な語をそれぞれ次の中から選び、記号で答えよ。

- ア しかも イ あるいは ウ まるで エ ですから オ しかし

A		B		C	
---	--	---	--	---	--

問三 線部①「木に竹を接ぐ」④「途方に暮れた」はどのような意味か。それを説明している部分を解答欄の形式に合うように、文中からそれぞれ十五字以内で抜き出せ。

①		④	
こと		こと	

問四 線部②「現代の参勤交代」とはどのようなことか。文中の語句を用いて、二十五字以内で答えよ。

--

問五 線部③「自然との接触が、日常の必然にならなければ、『伝統的文化』も、単なる掛け声やスローガン、旗振りみたいなものにすぎません」とあるが、その説明として最も適当なものを次の中から選び、記号で答えよ。

- ア 自然と日常的かつ必然的に触れあっていた当時の生活を自然に取り入れることができなければ、伝統的文化も無意味なものになってしまうということ。
 イ 自然について日常的に考える機会を持つようにしなければ、伝統的文化とはどういうものかイメージする力も衰えて、口先ばかりのものとなってしまいうということ。
 ウ 自然に触れあう時間を必然的に作るように、伝統的文化も半ば強制的にでも触れあうようにしなければ、文化そのものが失われてしまうということ。
 エ 自然を守ろうなどという標語を掲げるだけでなく、日常生活の中で実践するようにしなければ、伝統的文化も実体のないものになってしまうということ。

--

問六 [] を補うのに、最も適当な一文を次の中から選び、記号で答えよ。

- ア 森に行って、木を伐ればいいのですか
 イ 森に行くと、どんないいことがあるんですか
 ウ 森に行けば、きっと人生が豊かになりますよね
 エ 森には、どうやって行けばいいのでしょうか

--

問七 線部⑤「ここ」とはどういうことか。文中の語句を用いて、二十五字以内で答えよ。

--

問八 線部⑥「プラスの意味を持っているはずですが」とあるが、その説明として最も適当なものを次の中から選び、記号で答えよ。
 ア 自然も自分自身の大切な一部であると考え、自然に対しても強い関心を持つことができ、環境保全につながるとのこと。

- イ お金を自分のためだけでなく、自然に対しても使っていくことで、心に余裕が生まれ、真に豊かな生活を送ることが可能になるということ。
 ウ 花鳥風月の世界を味わうことで、昔ながらの伝統的な生活に立ち戻ることができ、かつてない新鮮な気持ちになることができるということ。
 エ 自然の中に足を踏み入れて何かを感じ取ることで、それまでの自分の考え方を超えた発想が生まれ、新たな発見や成長につながるということ。

--

受験番号

二 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。(四十点)

この部分は、著作権の関係で

掲載できません。

受験番号

この部分は、著作権の関係で掲載できません。

問一 線部 a 「軌道に乗せた」 b 「口を濁した」 c 「愕然とした」の意味として、最も適当なものをそれぞれ次の中から選び、記号で答えよ。

- | | | | | |
|---|-------------|------------|--------------|----------|
| a | 【ア 有名なものにした | イ 見事に大きくした | ウ 立派に再建した | エ 順調に進めた |
| b | 【ア 話をささぎった | イ うそをついた | ウ はっきり言わなかった | エ つぶやいた |
| c | 【ア ひどく驚いた | イ じっくり考えた | ウ かなり落ち込んだ | エ 少しあきれた |

問二 線部 I～III の品詞名を答えよ。

I	II	III

問三 (A) (B) (C) を補うのに、最も適当なものをそれぞれ次の中から選び、記号で答えよ。

- | | | | | |
|---------|----------|-----------|----------|---------|
| ア 嬉しそうに | イ 怒ったように | ウ 困惑したように | エ 照れたように | オ 悲しそうに |
| A | B | C | | |

問四 線部① 「俺はサイトを閉じてしまった」とあるが、この時の俺の気持ちとして最も適当なものを次の中から選び、記号で答えよ。

- | | |
|---|--|
| ア コンテストの入賞者がたいした才能もないのにたやすく夢をかなえていることを腹立たしく思っている。 | |
| イ コンテストの入賞者が自分の夢について悩んだことがなさそうなのを見てうらやましく思っている。 | |
| ウ コンテストの入賞者が夢をかなえたのに対して自分は実際に何もしていないことを情けなく思っている。 | |
| エ コンテストの入賞者が自分と同年齢ですでに成功しているという現実を認めたくないと思っている。 | |

問五 線部② 「楽しそうに語る親父の姿には」とあるが、ここで俺はどういうことに気づいたのか。文中の語句を用いて三十五字以内で答えよ。

問六 線部③ 「開業を決めたきっかけは？」とあるが、親父がパン屋を開業した理由として最も適当なものを次の中から選び、記号で答えよ。

- | | |
|--|--|
| ア 長い間趣味でパンを作っていたが、俺の映画に出演したことで長年の夢をかなえてヒーローになりたいと思ったから。 | |
| イ 昔、俺が撮った映画の中のヒーロー役のように、みんなに喜んでもらえるような輝く人生を送ってみたいと思ったから。 | |
| ウ 高校生になって夢を諦めてしまった俺に、朝早くから懸命に働く姿を見せて仕事の大切さを気づかせようと思ったから。 | |
| エ 幼い頃からの夢であるパン屋になることで、夢を諦めてしまった俺に希望を失うことなく頑張らせたいと思ったから。 | |

問七 線部④ 「俺の胸は鈍く痛んだ」とあるが、なぜか。その理由として最も適当なものを次の中から選び、記号で答えよ。

- | | |
|---|--|
| ア 親父をひそかに目標にしていたのに、自信が無かったためにパン屋になれなかったという弱いところを知ったから。 | |
| イ 俺は夢を諦めてしまったのに、親父が将来映画監督になるといった俺の言葉を信じ続けたことに気づいたから。 | |
| ウ 俺のささいな言葉がきっかけとなり、息子をがっかりさせてしまったのではないかと悩んでいる親父の姿を見たから。 | |
| エ 親父がパン屋を始めて経済的に厳しい状況になっていたのは、自分の発した何気ない質問のせいだとわかったから。 | |

問八 線部⑤ 「再びエンジンをかける」とあるが、具体的にはどうすることか。解答欄の形式に合うように十五字以内で答えよ。

もう一度	

問九 線部⑥ 「親父が俺にかけてくれた熱い思いが、じんわりと胸に伝わってきた」とあるが、この説明として最も適当なものを次の中から選び、記号で答えよ。

- | | |
|--|--|
| ア ビデオカメラを改めて見て、買ってくれた時の親父の姿が鮮明に思い出され自分への期待の大きさが少しずつ感じられるようになった。 | |
| イ ビデオカメラを手にすると、自分を信じて楽しく生きてほしいという親父の強い思いが自分の中でだんだんと確かなものになっていった。 | |
| ウ ビデオカメラを手にして初めて、何があっても夢見ることが忘れないでほしいという親父の真剣な気持ちと気がついた。 | |
| エ ビデオカメラを持つことで、俺がやる気になるのを何も言わずひたすら待ち続けてくれた親父の情熱がしみじみと心に広がってきた。 | |

問十 本文での俺の気持ちの変化を説明したものとして最も適当なものを次の中から選び、記号で答えよ。

- | | |
|--|--|
| ア パン屋を急に始めた親父に対して否定的だったが、テレビの取材を受けるまでになつたので次第に尊敬の念を抱くようになった。 | |
| イ 失敗を恐れ自分の夢を捨てていたが、たっさんの夢を追いかけている親父の姿を見て再び諦めず挑んでみようと思いはじめた。 | |
| ウ 自分の撮りたいものをただ撮ればよいと思っていたが、夢をかなえるためにはコンテストで結果を残すことも大切だと気づいた。 | |
| エ 夢を諦め何もうできない自分を惨めに感じていたが、親父の自分に対する思いを知ってもう一度希望を持って進もうと決意した。 | |

受験番号

三 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。(二十点)

今は昔、人のもとに※1宮仕へしてある生侍※2ありけり。する事のなきままに、清水へ人まねして、千日詣を二度したりけり。その後※5いづくもなくなつて、主のもとにありける同じやうなる侍と双六を打ちけるが、多く負けて、渡すべき物なかりけるに、いたく責めければ、思ひわびて、「我持ちたる物なし。只今貯へたる物とは、清水に二千度参りたる事のみなんある。それを渡さん」といひければ、傍らにて聞く人は、謀るなりと、をこに思ひて笑ひけるを、この勝ちたる侍、「いとよき事なり。渡さば得ん」といひて、「いな、かくては請け取らじ。三日して、この由を申して、おのれ渡す由の文書きて渡さばこそ請け取らめ」といひければ、「よき事なり」と契りて、その日より精進して、三日といひける日、「さは、いざ清水へ」といひければ、この痴者にあひたると、をかしく思ひて悦びてつれて参りにけり。いふままに文書きて、御前にて師の僧呼びて、事の由申させて、「二千度参りつる事、それがしに双六に打ち入れつ」と書き取らせければ、請け取りつつ悦びて、伏し拝みまかり出でにけり。その後、いく程なくして、(8)、思ひかけぬ事にて捕へられて人屋※12にゐにけり。(9)は、思ひかけぬ便りある妻※13まうけて、いとよく徳つきて※14司※14となりて、頼もしくてぞありける。「目に見えぬものなれど、まことの心を致して請け取りければ、仏、哀れと思しめしたりけるなめり」とぞ人いひける。

〔宇治拾遺物語〕

- ※1 宮仕へ：貴人の家に仕えること
- ※2 生侍：若く身分の低い侍
- ※3 清水：清水寺
- ※4 千日詣：千日参詣して、願いの実現を祈ること
- ※5 いくばく：どのくらい
- ※6 双六：盤上の駒を進めて勝敗を競う室内遊戯
- ※7 思ひわびて：思い困つて
- ※8 をこに思ひて：ばからしく思つて
- ※9 精進し：心身を清め
- ※10 痴者：愚か者
- ※11 まかり出でにけり：退去したのだつた
- ※12 人屋：牢屋
- ※13 便りある妻：経済力のある妻
- ※14 司などなりて：任官などして
- ※15 哀れと思しめしたりけるなめり：感心だと思ひになられたのであるようだ

問一 線部①「責めけれ」⑤「いひけれ」の主語はそれぞれ誰か。次の中から選び、記号で答えよ。同じ記号を何度使つてもよい。

- ア 生侍(負侍)
- イ 同じやうなる侍(勝ちたる侍)
- ウ 傍らにて聞く人
- エ 師の僧

①	
⑤	

問二 線部②「それを渡さん」とは、「それをあげよう」という意味である。

(1)「それ」とは何を指すか。文中から十字以内で抜き出せ。

--

(2)双六に何度も負けた結果、「それ」を渡さなければならなくなった事情を、文中から十字以内で抜き出せ。

--

問三 線部③「謀るなり」の意味として、最も適当なものを次の中から選び、記号で答えよ。

- ア 勝つた侍が、受けとる機をうかがっているのだ。
- イ 勝つた侍が、誰かと相談して決めようとしているのだ。
- ウ 負けた侍が、うまく言い訳をしようとしているのだ。
- エ 負けた侍が、うまくだまそうとしているのだ。

--

問四 線部④「いな、かくては請け取らじ」は、「いや、このままでは受け取るまい」という意味であるが、それでは、どうすれば受け取ると言うのか。最も適当なものを次の中から選び、記号で答えよ。

- ア あなたが三日の間誰かと相談して、後悔しないと確信した後に、私に譲るといふ証文を書いてくれれば受け取る。
- イ あなたが三日の間よく考えて、決意を固めてから私が譲ってほしいといふ証文を書くまで待つてくれれば受け取る。
- ウ 私が三日の間受け取る価値があるかどうかを考えて、譲ってほしいといふ証文を書くまで待つてくれれば受け取る。
- エ 私が三日の間身を清めて、事情を清水さまに報告して、あなたが譲るといふ証文を書いてくれれば受け取る。

--

問五 線部⑥「悦びて」⑦「悦びて」を説明したものととして正しいものを次の中からそれぞれ一つ選び、記号で答えよ。

- ア 「清水への二千度参り」を相手に受け取らせることをまふと了承させることができた「悦び」
- イ 「清水への二千度参り」を快く受け取った相手が幸せな人生を送ることができると実感した「悦び」
- ウ 「清水への二千度参り」を安易に渡した行為は罰当たりだと相手に教えることができた「悦び」
- エ 「清水への二千度参り」の御利益を思いもかけず譲つてもらつて得をしたという「悦び」

⑥	
⑦	

問六 (8) (9) に当てはまる人物として最も適当なものを、問一の選択肢の中からそれぞれ一つ選び、記号で答えよ。

⑧	
⑨	

--

問七 作者が、この本文で最も大切だと言っているものは何か。文中から五字で抜き出せ。

--